



JIS K 5970 建物用床塗料 上塗り
 認証番号 JP0508057
 ホルムアルデヒド放散等級
 F☆☆☆☆



JCA-2631 (本社工場)
 JCA-EM3548 (本社工場)

鉛・クロムフリー

厚生労働省指定13物質無配合

水系2液型ポリウレタン樹脂塗料
 水系 **ポウジンテックス**

U



- 耐久性
- 耐候性
- 水系で低臭気
- 速乾性

地球にやさしく、強く、美しく

厚生労働省指定 室内空気汚染13物質無配合
環境にやさしく、安全に施工ができ、高レベルの光沢を有する塗料です。水系塗料でありながら非常に速い乾燥性を持ち、工程短縮が可能です。耐汚染性に優れ、タイヤマークがつきにくく、さらに優れた耐候性を発揮しますので外部での使用も可能です。



特長・用途

特長



ホルムアルデヒドの発散は少ない
建築基準法、建築材料の区分は規制対象外となっている

- 1 水分散型でありながら優れた乾燥性を有する
- 2 水分散型ポリウレタンでありながら高光沢で強靱な塗膜が得られる
- 3 水分散型なので火災の危険性が少ない
- 4 水分散型なので溶剤臭が少ない
- 5 耐候性がよく、外部用途に使用可能
- 6 幅広い旧塗膜に対して直接塗装が可能
(溶剤系アクリル旧塗膜に対してはプライマーが必要となります)

用途

- 1 強靱な塗膜を必要とする一般工場・倉庫
- 2 リフトが走行する工場や倉庫
- 3 耐油性、耐薬品性が要求される機械・印刷工場
- 4 防滑性が必要な屋内パーキング(防滑仕上げ)
- 5 耐候性が必要な屋外パーキングや遊歩道など



一般工場・倉庫



食品工場



機械室・ボイラー室



化学薬品工場・印刷工場



屋内パーキング



運搬車両使用工場



屋外パーキング



遊歩道・広場・サイクル道

※大量の水および熱水がかかる床面には不適です。

抜群の耐タイヤマーク性

(耐タイヤマーク試験) 試験方法: 塗膜乾燥7日後にフォークリフトのタイヤ片を擦り付けて乾いたウエスで拭き取る



水系ボウジンテックス U



他社品 A



他社品 B



他社品 C

フォークリフトの走行などにより発生するタイヤ跡は塗り替えの目安の一つです。水系ボウジンテックス Uは良好な耐汚染性を発揮するので美観を保つと同時に塗り替えサイクルを長寿命化します。

性能・荷姿

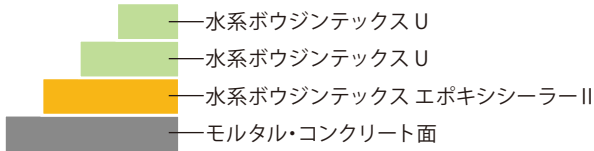
性能		
試験項目	試験方法	結果
鏡面光沢度	JIS K 5600-4-7に準ずる。 ガラス板に塗付200 μ m,60度	75 以上
引っかかり硬度 (鉛筆法)	JIS K 5600-5-4に準ずる。 すり傷	F
耐摩耗性 (mg/摩擦輪法)	JIS K 5600-5-9に準ずる。 摩耗輪CS-17荷重500g \times 2, 1000回転	60 \pm 5
耐水性	JIS K 5600-6-11に準ずる。 水道水に7日間浸せき	異常なし
耐アルカリ性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 炭酸ナトリウム5%水溶液に48時間浸せき	異常なし
耐酸性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 硫酸5%水溶液に48時間浸せき	異常なし
耐温水性	JIS K 5600-6-1に準ずる。 50 $^{\circ}$ C温水に48時間浸せき	異常なし
耐汚染性	耐タイヤマークテスト 23 $^{\circ}$ C乾燥7日後にタイヤ片で強く擦る	支障なし
ホルムアルデヒド 放散量	JIS K 5970 デシケータ法	0.12mg/L以下 F☆☆☆☆

荷姿	
■ 上塗り材	
水系ボウジンテックス U	14kgセット (主剤13kg/硬化剤1kg)
■ 下塗り材	
水系ボウジンテックス エポキシシーラーII	14kgセット (主剤7kg/硬化剤7kg) 4kgセット (主剤2kg/硬化剤2kg)
水系ボウジンテックス シーラー	15kg・4kg
ボウジンテックス 強化シーラー	16kg・4kg
■ 希釈剤	
ボウジンテックス #5000Uシンナー	16L・4L (強化シーラー用)
■ 副資材	
歩行用防滑骨剤	300g

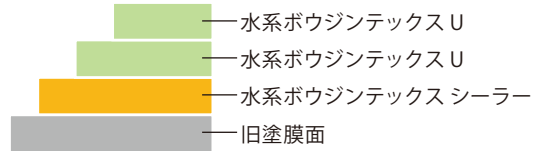
MIZUKEI BOUJINTEX U

塗装工程

モルタル・コンクリート面 (新設)



旧塗膜面の塗り替え



塗装仕様

※低温施工時に下塗り材の養生が不十分な場合、水系Uを塗装した際に下塗りと上塗りの層間で剥離が生じる場合がありますので、ご注意ください。

※2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず既定の割合で混合し、必ずマゼール等で充分機械撹拌してください。

■モルタル・コンクリート面

①平滑仕上げ

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリリッシャーまたはライナックス等でプライマーが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等はプライマー工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填しておく。									
下塗り	水系ボウジンテックスエポキシシーラーII 主剤7kg 硬化剤7kg	既調合	ハケ ローラー	1	0.12~0.16	88~116	60分以内	—	4h以上 48h以内	—
上塗り	水系ボウジンテックスU 主剤13kg 硬化剤1kg	2~10% (希釈水)	ハケ ローラー	2	0.11~0.16	44~64	3h以内	2h以上 48h以内	—	6h以上 完全硬化2日以上

※塗付量に希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。

※上塗り1回目に歩行用防滑骨材を混合することにより、軽歩行用防滑仕上げが可能。(添加量: 300g/1缶)

※注意:シーラーの吸い込みが激しい場合は、シーラーを2回塗装してください。

②防滑仕上げ

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	新打設のコンクリート面では、夏季30日以上、冬季40日以上養生乾燥させ(モルタル面では夏季14日以上、冬季20日以上)、表面層の水分率5%以下(デジタル水分計)とする。表面層にレイタンスや緻密層があると付着不良の原因となるため、必ずポリリッシャーまたはライナックス等でプライマーが含浸する下地面になるまで目粗しを行い、次いで丁寧に清掃する。既設モルタル・コンクリート面では、油分・ホコリ・泥等を丁寧に除去・清掃し、充分乾燥させる。また、クラック・不陸等はプライマー工程後、あらかじめエポキシパテ等で充填しておく。									
下塗り	水系ボウジンテックスエポキシシーラーII 主剤7kg 硬化剤7kg	既調合	ハケ ローラー	1	0.12~0.16	88~116	60分以内	—	4h以上 48h以内	—
中塗り	水系ボウジンテックスU 主剤13kg 硬化剤1kg	2~10% (希釈水)	ハケ ローラー	1	0.11~0.16	88~127	3h以内	—	2h以上 48h以内	—
珪砂散布	中塗り乾燥までに7号珪砂を0.1~0.3kg/㎡均一に散布する。									
上塗り	水系ボウジンテックスU 主剤13kg 硬化剤1kg	2~10% (希釈水)	ハケ ローラー	2	0.11~0.16	44~64	3h以内	2h以上 48h以内	—	6h以上 完全硬化2日以上

※塗付量に希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。

※注意:シーラーの吸い込みが激しい場合は、シーラーを2回塗装してください。

※7号珪砂より大きい珪砂で施工すると、摩擦等により珪砂が脱落しやすくなります。

③その他下塗り材

下塗り	ボウジンテックス強化シーラー 16kg	2~10% #5000Uシンナー	ハケ ローラー	1	0.12~0.16	100~133	—	—	5h以上 24h以内	—
-----	------------------------	---------------------	------------	---	-----------	---------	---	---	---------------	---

■旧塗膜面の塗り替え

工程	使用塗料	希釈率	塗装方法	塗回数 (回)	塗付量 (kg/㎡/回)	塗面積 (㎡/缶セット)	可使用時間 (23℃)	塗装間隔(23℃)		
								工程内	工程間	歩行可能
素地調整	下地の汚れ・ゴミ・油分を除去し、必要に応じてサンダーにて目粗しを行う。旧塗膜の死膜(膨れ、浮き、はがれ部)をケレンし、活膜だけを残す。ワックスが塗付されている場合は除去して充分乾燥させる。									
下塗り	水系ボウジンテックスシーラー 15kg	既調合	ハケ ローラー	1	0.10~0.13	115~150	—	—	2h以上	—
上塗り	水系ボウジンテックスU 主剤13kg 硬化剤1kg	2~10% (希釈水)	ハケ ローラー	2	0.11~0.16	44~64	3h以内	2h以上 48h以内	—	6h以上 完全硬化2日以上

※塗付量に希釈水は含まれていません。塗付量は条件により増減します。

※旧塗膜面は目粗しが必要です。

注意事項

仕様全般

1. 気温10℃以下、相対湿度80%以上、降雨、降雪、結露が予想される場合は、硬化不良を起こすことがありますので施工を避けてください。
2. 下塗りの塗分量が下限値以下の場合は剥離の可能性があります。
3. 塗装や塗料取り扱い時には、換気に気を付け火気厳禁としてください。また、溶剤中毒には充分ご注意ください。
4. 塗装中に開放して放置しますと上乾きすることがありますのでご注意ください。また上乾きした塗膜は塗料に混ぜ込まないでください。
5. 換気が不十分である場合、乾燥が遅れるおそれがあります。
6. 排水溝には捨てないでください。
7. 静電気をさらう床には塗装しないでください。
8. 防滑仕上げは標準3回塗りです。
9. 化学物質過敏症の人は、塗料に含有している化学物質(VOC等)に過敏に反応される可能性がありますので、充分ご注意ください。
10. 塗装による臭いで、近隣に迷惑を掛けることがありますので、充分に配慮をお願いします。
11. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート(SDS)をご参照ください。

塗料に関する注意

1. 水系ポウジンテックス エポキシシーラーⅡは、可使用時間を過ぎても増粘・ゲル化は起こしませんが、付着性が低下しますので、可使用時間内に手際よく塗装してください。
2. ポウジンテックス 強化シーラーを炎天下で塗装すると層間剥離を起こす可能性がありますので施工を避けてください。
3. 使用前には充分攪拌してください。
4. 溶剤系塗料は、溶剤の影響により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分ご注意ください。
5. イソシアネート硬化剤は、ガスの発生により内圧が上がっている可能性がありますので、開栓時は充分ご注意ください。
6. **2液型塗料の主剤と硬化剤の混合は必ず規定の調合割合で混合し、必ずマゼール等で充分機械攪拌してください。**
7. 2液型塗料は、塗料ごとの可使用時間内に塗装してください。
8. 2液型塗料は気温が高い場合極端に可使用時間が短くなりますので、手際よく塗装してください。
9. 小分けする場合は、充分攪拌して均一の状態にしてから行ってください。色浮き・色違いや硬化不良等の原因となります。
10. 小分けして使用した水系のシーラーは元の石油缶には戻さないでください。
11. 市販の希釈用塗料シンナーには多種のシンナーがあり、適合しないものもありますので、必ず専用シンナーをご使用ください。
12. 硬化剤はイソシアネートを含有しているため、蒸気、ミスト等を吸い込まないようにしてください。また、皮膚に付着しないよう充分ご注意ください。
13. 2液型塗料は、主剤と硬化剤は別々に密栓し冷暗所に保管してください。また、開栓後は早目に使い切ってください。
14. 水系塗料の保管は直射日光を避け、冬季には凍結させないよう3℃以上の室内で行ってください。
15. 材料の保管、取り扱いには消防法・労働安全衛生法に基づき充分な管理をお願いします。

カラーサンプル



No.16 ライトベージュ



No.19 ライトグレー



No.22 ハーモニーグリーン



No.17 ベージュ



No.32 グレー



No.23 オリーブ



No.1 オレンジブラウン



No.24 アクアグレー



No.21 フレッシュグリーン



No.20 ブラウン



No.25 ブルージェー



No.30 フィーバーグリーン



ライン用白



No.10 グリーン



No.9 ライトグリーン



ライン用黄色

注)この色見本は印刷によるもので現物の色とは差があります。発注の際は色見本帳または塗り板で色を確認してください。



水谷ペイント株式会社

本 社	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3151 FAX (06) 6393-1101
大阪支店	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
西日本開発部	☎ 532-0006	大阪市淀川区西三国4-3-90	☎ (06) 6391-3401 FAX (06) 6391-3456
東京支店	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
東日本開発部	☎ 101-0032	東京都千代田区岩本町1-4-5 NS岩本町ビル	☎ (03) 3865-8177 FAX (03) 3865-8760
北関東支店	☎ 348-0038	埼玉県羽生市小松台2-705-22	☎ (048) 563-0355 FAX (048) 563-5124
中部支店	☎ 486-0815	愛知県春日井市十三塚町3-6	☎ (0568) 85-3551 FAX (0568) 85-3556
広島支店	☎ 734-0022	広島市南区東雲1-13-16	☎ (082) 284-6556 FAX (082) 283-0017
福岡支店	☎ 811-2304	福岡県糟屋郡粕屋町仲原2628-1	☎ (092) 611-5731 FAX (092) 621-2301
仙台営業所	☎ 984-0042	仙台市若林区大和町1-22-36	☎ (022) 782-6770 FAX (022) 232-6871
札幌営業所	☎ 003-0006	札幌市白石区東札幌6条5-2-6	☎ (011) 824-5711 FAX (011) 824-6464
工場		本社・埼玉・中部・広島・福岡	

塗料相談室 塗料に関するご質問、お問い合わせは…



☎ **06-6391-3039**

営業時間：午前 9:00～12:00 午後 1:00～3:00

特約店

カタログ掲載の内容は予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

2105050205485